

平成 22 年 6 月 16 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007～2009
 課題番号：19510272
 研究課題名（和文）近代中国における漫画の形成と漫画表象のジェンダー観点からの研究
 研究課題名（英文）A Research on the Formation and Representation of Manhua or Cartoons in Modern China from Gender Perspective
 研究代表者
 坂元 ひろ子（SAKAMOTO HIROKO）
 一橋大学・大学院社会学研究科・教授
 研究者番号：30205778

研究成果の概要（和文）：中国近代の漫画というジャンルは、歴史的な文字文化の偏重のために文化としての認知に困難をともなってきた。その近代漫画、ことに 20 世紀前半までにおいて稀少な女性漫画家、梁白波を含む 1920 年代から 40 年代にかけての前衛的漫画家たちの作品群に着目し、漫画表象のジェンダー視角からの分析を通して、植民地性ともかかわる近代中国漫画の異文化連鎖的、複数文化的形成の様相・特質についての分析を試みた。

研究成果の概要（英文）：Modern Chinese Manhua or cartoon has rarely received attentions because of the historical literature-based culture in China. This research has focused on the cross-cultural formation of Manhua in modern China and the representation of Manhua especially made by avant-garde artists in 1920s to 1940s including Liang Baibo who was the only female Manhua artist then in China to highlight the colonial modernity from gender perspective.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2008 年度	900,000	270,000	1,170,000
2009 年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	3,000,000	900,000	3,900,000

研究分野：中国近現代思想文化史

科研費の分科・細目：ジェンダー・ジェンダー

キーワード：中国漫画、ジェンダー、中国近代思想史、植民地性、異文化連鎖、モダンガール、中国近代美術、梁白波

1. 研究開始当初の背景

近代アジア、ことに 20 世紀初頭まで科挙によって男性読書人の文字文化が偏重されてきた中国での漫画は、雑誌というメディアの隆盛につれ、同時代の日本や先行した欧米のそれを参照にしつつ、ことに異文化連鎖的、複数文化的に成立した。そのために漫画を文化、研究対象として重視し始めて日の浅い中国では、文人画の延長上に位置づけやすい豊子愷を除いては研究蓄積に乏しく、その研究も一国的かつ単性史的であった。

そこで、これまでに手がけた、日本留学(現、東京芸術大学)期から中国広告アートの先駆者で豊子愷(「豊子愷漫画」で知られる)の師となった近代仏教思想家、李叔同(弘一法師)研究から、植民地性の濃厚な租界をもつ上海で葉浅茅ら若い前衛的漫画家集団、上海漫画会(1927 年結成)によって異文化連鎖的、複数文化的に作られた『上海漫画』や『時代漫画』に注目し、上海漫画会そのものが欧米の新美術潮流の強い影響下にあった日本の近代漫画家、岡本一平による東京漫画会(1915 年結成)を意識しているものであることをつきとめ、彼らの手になる漫画におけるモダンガール表象のジェンダー視角からの研究を手がけるようになった。

2. 研究の目的

儒教および千年以上にわたる科挙制度の結果としての、男性による文字文化の偏重・独占という中国思想文化史において、近代に成立しながら、文化として認知されがたかった漫画というジャンル、ことにこれまで研究がほとんどない、20 世紀前半までにおいて稀少な女性漫画家、梁白波に光をあてながら、彼女を含む 1920 年代から 40 年代にかけての前衛的漫画家たちの視覚的作品群に着目し、新聞雑誌メディアにおけるイラスト広告もあわせて、ジェンダー視角から分析してこれまでの研究を統合発展させることを目的とする。

3. 研究の方法

上海、また北京をはじめとして各地に赴いて当該時期の漫画雑誌ならびに新聞雑誌におけるイラスト広告を収集し、さらに影響関係を考慮するためには日本や欧米のそれにも目配りする必要があるため、資料と情報を収集するためにも海外でのシンポジウム参加要請にできるだけ応じて研究発表をし、レビューを受けることに努めることにした。そのうえで資料をスキヤニングしたうえで整理、図像のデータベースを作成し、ジェンダー表象の研究者たちとの交流ももちつつ、ジェンダー視角から分析する作業をおこなった。

4. 研究成果

ジェンダー視角からの図像分析を通して、国内資本主義の発展期にあった 1919 年の五四運動以降、新聞雑誌ではイラスト広告において顕著に民族主義的な世論に対する配慮およびジェンダー・ポリティクスが戦略的に重視されるようになったことを明らかにした。

具体的には、上海の煙草会社が外貨排斥運動のターゲットになることを回避するために、それ以前の洋風、舶来風のイメージを一掃して万里の長城などの「中国性」に訴えるアイコンを用いて愛国を訴え出してきたことをみてとった。同時に、それ以前にはない伝説的な父の代わりに従軍した「木蘭」のような「強い女性」のイメージを使用する戦術を民族資本が使用しだした点にもジェンダー戦略を見いだした。

同時に 20 世紀初には植民地化した朝鮮はもとより、清末の中国にも販路を拡大しつつあった、たとえば、もともと中国の漢方をまねていることで売り出していた日本の保健薬「仁丹」のような製品の広告についても、興味深い様相を見てとった。「仁丹」の「類似品」を日貨排斥運動によって販売し出し、「仁丹」側の髭の軍人風にもみえるロゴに対抗して『三国志』のヒーローをかつぎだした中国の民族資本側との攻防において、紙上の広告戦に、民族とジェンダーが見事からみあう形で関係していた。

さらにそうした時代を背景として、租界を有する上海が多く発信地となった色彩漫画にも、写真とのコラボレーションをも試みるモダン複製文化が根付いていた。ほとんど男性が制作者であった政治風刺漫画・社会素描画・広告イラストにも、儒教文化に抗うモダンボーイとしての当事者性から、モダンガールへの欲望とその消費性への揶揄を表現するという両義性を通して、纏足を解いた女性の「躍動する身体」ごと、その階級性とともな女性主体の表れが描きこまれることになった。

そればかりでなく、海外からの映画やファッション誌さらにドイツの民族学者(井上薫の先行研究で特定された)による世界の「人種」の「女性裸体美」といった「学術」書を通して、当時の人種差別的な審美意識がおりこまれていることを読みとることができた。

満洲事変以降、30 年代後半になると、日本のエログロ文化も上海に「色情文化」(片岡鉄兵)としてそのことばごと連鎖すると、描かれる女性たちは 20 年代のはつらつとした「躍動」性をそがれて、画家の欲望が露骨に表れるかのように、「商品化」したエロティックな裸体女性として描かれるようになる。

そこへ唯一の女性漫画家で 30 年代には著

名となった男性漫画家、葉浅予の愛人でもあった梁白波が登場し、上海はもとより北方のメディアにまでとりあげられた男の妻子からの「逃避行」スキャンダルに悩まされつつ、従来のものとは異なる女性を描くことに成功した。男性の欲望に根ざす揶揄を含む眼差しからではなく、男性の夢想した「人種美」でもなく、かつ既成のジェンダー・コードを強化した新生活運動のモード規制に対して「抵抗する」、同時に男性に対してしたたかな女性の表象をなしえたことを明らかにした。

だがそれらが満洲事変以降、日中戦争にむかうなかで変質を余儀なくされ、視覚メディアのなかのモダンガールの「没落」をみることができ、実際、梁白波を含む女性たちも抗日戦争が始まると、「女性の総動員」キャンペーンに動員されたのであり、そこにさまざまな面で錯綜する植民地的近代のありかたを指摘しえた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

- ① 坂元ひろ子, Creation of New Networks of Plural Identities: Learning from the History of Early Globalization, *Trans-Humanities* (Seoul, Korea), 2009, 39-61、査読有

[学会発表] (計11件)

- ① 坂元ひろ子, 近代中国漫画及伝播 広告／漫画・民族主義・社会性別 (中国語)、第三回中国近代社会史国際学術研討会、2009年8月28日、貴州師範大学
- ② 坂元ひろ子, The impact of Versailles on the development of nationalism in China and cartoons as urban culture (英語)、Asia after Versailles, 1919-1933 Symposium, 2009年6月19日、the Japan Center of Munich University (ミュンヘン)
- ③ 坂元ひろ子, 五四時期的女性主義及其思想来源 (中国語)、紀念五四運動国際学術研討会、2009年5月4日、中国社会科学院近代史研究所 (北京)
- ④ 坂元ひろ子, 抗日戦争時期的漫画与摩登女郎の走向 (中国語)、中国社会科学院近代史研究所報告会、2008.10.28、中国社会科学院近代史研究所 (北京)
- ⑤ 坂元ひろ子, 五四新文化言説与優生思想 (中国語)、Culture and Politics in 20th Century Chinese History: May 4th as a Site for Rethinking, 2008.10.27、清華大学 (北京)

- ⑥ 坂元ひろ子, Scope, subject, and perspectives of East Asian regional histories (英語)、Reconciliation in East Asia Shared Memories and Plural Universality, 2008.9.9、韓国ユネスコ委員会 (ソウル)

- ⑦ 坂元ひろ子, Dismantlement / Consolidation of National / Ethnic Identities (英語)、EIH International Conference Globalization and Cultural Border, 2008.9.5、梨花女子大学 (ソウル)

- ⑧ 坂元ひろ子, The Modern Chinese Art and the Traditional Thoughts in 1920s and 30s (英語)、講演、2008,1,17、Centre d'études sur la Chine moderne et contemporaine, CNRS (Centre National de la Recherche Scientifique) (パリ)

- ⑨ 坂元ひろ子, The Shanghai Modern Girls Represented in Cartoon Magazines of 1920s and 1930s (英語)、講演、2008,1,14、Institut d'Asie Orientale, E.N.S. (The École normale supérieure) Lettres & Sciences Humanites (リヨン)

- ⑩ 坂元ひろ子, The Shanghai Modern Girls Represented in Cartoon Magazines of the Period of Republic Chinas (英語)、IIAS(International Institute for Asian Studies) Fellow Symposium, 2007年11月29日、ライデン大学 (オランダ)

- ⑪ 坂元ひろ子, Representation of the Modern Girl in Shanghai Cartoon Magazines, 1920s-1930s, Representation of the Modern Girl in Shanghai Cartoon Magazines, 1920s-1930s (英語)、講演、2007年11月16日、Department of Culture Studies and Oriental Languages, University of Oslo (オスロ)

[図書] (計9件)

- ① 坂元ひろ子, ほか、岩波書店、モダンガールと植民地的近代 東アジアにおける帝国・資本・ジェンダー、「漫画表象に見る上海モダンガール」、2010、329 (1-21、117-150、313-317)
- ② 坂元ひろ子, ほか、岩波書店、新編原典中国近代思想史、第1巻、2010、406 (V-XVIII)
- ③ 坂元ひろ子, 研文出版、連鎖する中国近代の“知”、2009、343
- ④ 坂元ひろ子, ほか、岩波書店、性／愛の哲学 (岩波講座哲学 12) 「非西洋圏における性愛、性／愛—中国の性の歴史の見られ方から—」、2009、305 (45-64)

- ⑤ 坂元ひろ子、ほか、Korean National Commission for UNESCO, NORTHEAST ASIAN HISTORY FOUNDATION (Seoul, Korea)、*Shared Memories and Plural Universality-2nd International Forum on Historical Reconciliation in East Asia*, “Scope, Subject, and Perspectives of East Asia Regional Histories,” 2008、465 (41-55、249-263)
- ⑥ 坂元ひろ子、ほか、社会評論社、沖縄・問いを立てる3 攪乱する島 ジェンダー的視点、「沖縄と東アジア社会をジェンダーの視点で読む—移動、戦争、「語ることができる／できない」記憶の問いかけ」、2008、232 (75-105)
- ⑦ 坂元ひろ子、ほか、三聯書店(北京)、東亜人文・第一輯、「中国的優生思想与翻訳」、2008、443 (303-322)
- ⑧ 坂元ひろ子、ほか、華東師範大学出版社(上海)、都市文化的現代中国、「民国時期画報裏的“摩登女郎”」2007、501(73-88)
- ⑨ 坂元ひろ子、ほか、社会科学文献出版社(北京)、近代中国社会与民間文化、「試論近代上海“摩登女郎”的形成過程—社会史、思想文化史的多元比較分析」(中国語)、2007、495 (241-255)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

坂元 ひろ子 (SAKAMOTO HIROKO)
一橋大学・大学院社会学研究科、教授
研究者番号：30205778